

第 200 回幹事会議事要旨

日 時 平成 26 年 9 月 11 日 (木) 15:40~18:10

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆
(副会長) 小林 良彰、家 泰弘、春日 文子
(第一部) 佐藤 学、大沢 真理、井野瀬 久美恵、杉田 敦
(第二部) 山本 正幸、生源寺 眞一、長野 哲雄
(第三部) 荒川 泰彦、巽 和行、相原 博昭

(事務局長) 田口 和也

(事務局次長) 山田 淳

(課長等) 吉住 啓作、檀原 均、中澤 貴生、盛田 謙二、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 提言「東日本大震災からの復興政策の改善についての提言」について、社会学委員会東日本大震災の被害構造と日本社会の再建の道を探る分科会の吉原副委員長及び山下委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。
 - (2) 提言「地球に生きる素養を身につけよう『地球が好きになる教育の勧め』」について、地球惑星科学委員会社会貢献分科会の北里委員長より説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することとなった。
 - (3) 報告「生命科学の基盤となる統合バイオイメーキング科学の研究推進」について、基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理学分科会の曾我部委員長及び難波副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (4) 報告「オープンデータに関する権利と義務 - 本格的なデータジャーナルに向けて -」について、情報学委員会国際サイエンスデータ分科会の土居委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第三部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (5) 報告「最近の対外的緊張関係の解消と日本における多文化共生の確立に向けて」について、会長より、第 195 回幹事会での議論を踏まえた、その後の調整結果の説明があり、審議の結果、承認した。
 - (6) 平成 26 年度代表派遣について、実施計画に基づく 10-12 月期の会議派遣者を決定した。
 - (7) 5 件のシンポジウム等の開催、1 件の国際会議及び 1 件の国内会議の後援を決

定した。

4 その他事項として、会長から、報告「日本学術会議の果たし得る評価機能について」について、第 198 回幹事会での議論を踏まえた修文について会長が確認した上で、9 月 8 日に公表したことの報告があった。

また、今後の幹事会開催日程について確認が行われた。

5 以下の非公開審議が行われた。

(1) 平成 26 年度代表派遣 10-12 月期の会議派遣者に関連し、国際業務に参画するための特任連携会員の任命を決定した。

(2) 補欠の連携会員候補者を決定した。

(3) 日本学術会議連携会員の辞職の承認を同意した。